

# 平成28年度管内概要



山形森林管理署

# 目 次

<b>1. 山形森林管理署について</b>	
◇ようこそ山形森林管理署へ	1
◇山形森林管理署の歴史	2
◇管内の森林面積	3
◇管内の人天別面積・蓄積及び人工林齢級構成	4
<b>2. 公益重視の管理経営</b>	
◇機能類型に応じた管理経営の推進	5
◇保安林の保全管理	6
◇安心・安全に向けた国土の保全	6
◇路網の整備	8
<b>3. 森林・林業の再生への貢献</b>	
◇民有林と連携した森林整備	9
◇低コスト作業システムの技術開発と普及	9
◇森林・林業技術者等の育成	10
◇国産材の安定供給と需要拡大	10
<b>4. 国民の森林としての管理</b>	
◇双方向の情報等受発信	11
◇森林環境教育の推進	11
◇国民参加による森林整備及び森林の保全	12
<b>5. 森林の適切な保全・維持管理</b>	
◇「保護林」「緑の回廊」の適切な保全・維持管理	12
◇森林の巡視及び境界の保全	14
◇森林病虫害及び鳥獣被害の防除	14
<b>6. 国有林野の活用</b>	
◇国有林野活用の推進	15
<b>7. 平成28年度主要事業量</b>	
(1) 収穫量	17
(2) 販売量	17
(3) 森林整備事業	17
(4) 林道事業	18
(5) 治山事業	18
<b>8. 組織図等</b>	
◇山形森林管理署組織図	19
◇森林事務所連絡先	19

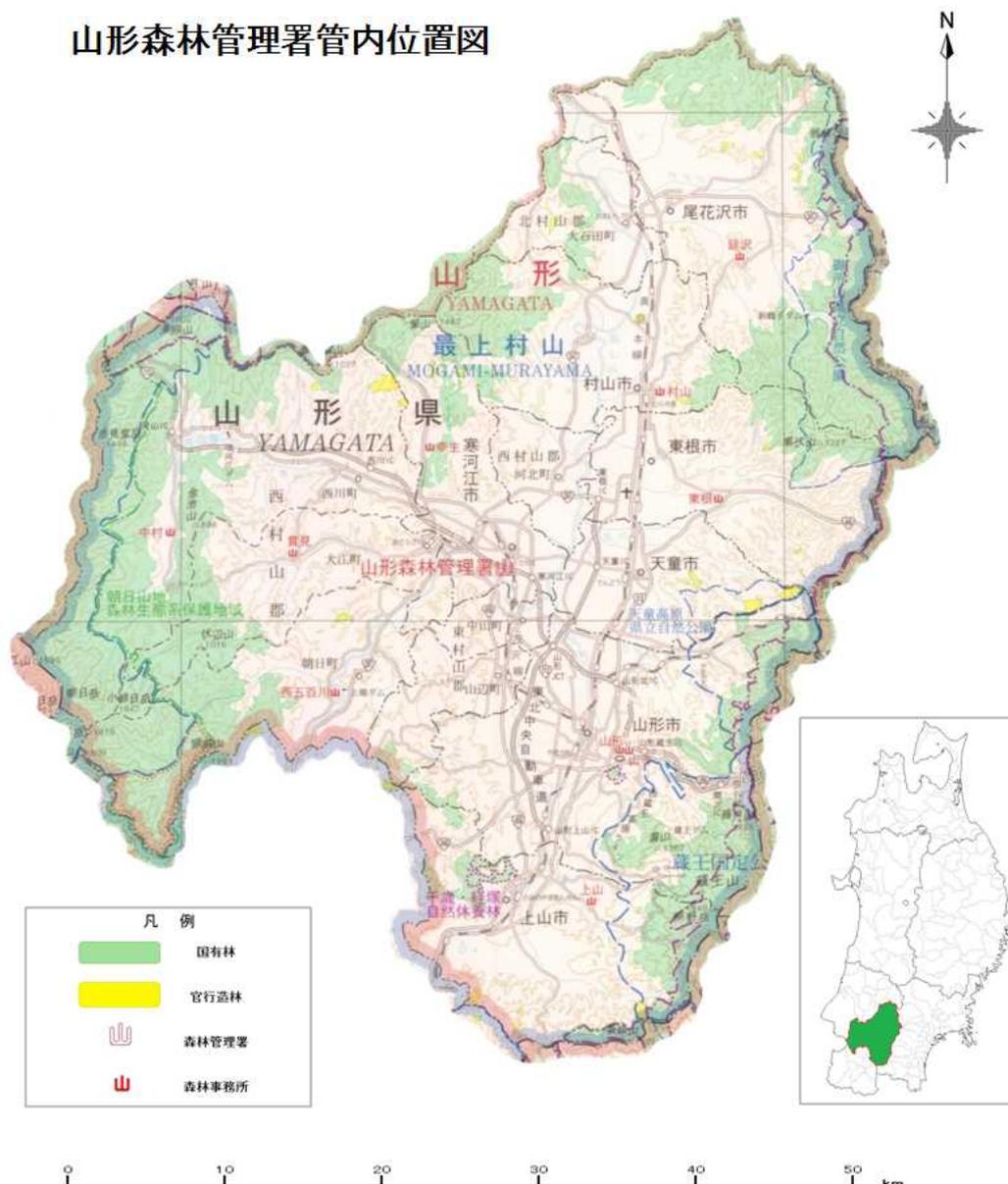
# 1. 山形森林管理署について

## ようこそ山形森林管理署へ

山形森林管理署は、山形県の中央部から東部に位置する村山地域の国有林約77千haを管理しており、管轄する区域は、北側に葉山（はやま：1,462m）、熊ノ返山（くまのかえしやま：828m）、東側は御所山（ごしょざん：1,500m）、熊野岳（くまのだけ：1,841m）などの奥羽山脈と接し、南側は白鷹山（しらたかやま：986m）、頭殿山（とうどのさん：1,203m）、西側は月山（がっさん：1,984m）、大朝日岳（おおあさひだけ：1,870m）などの山々に囲まれた一帯で、管内の中央部を最上川が貫流し、この最上川には丹生川、乱川、寒河江川、立谷川、馬見ヶ崎川、須川などの中小河川が流入しています。

また、管内には「磐梯朝日国立公園（14,933ha）」「蔵王国定公園（10,493ha）」「御所山県立自然公園（9,989ha）」の自然公園や、貴重な森林及び「保護林」を連結して本来生息する野生動植物の広域的な繋がりを確保するための「奥羽山脈緑の回廊」「鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊」が指定されています。

山形森林管理署管内位置図



## 山形森林管理署の歴史

山形森林管理署は、明治25年4月に山形、朝日、楯岡の各小林区署が設置されてから合併等の改編を経て、現在は山形県寒河江市に事務所を構え、管内各流域に6森林事務所（10担当区）を配置して村山地域14市町村（国有林野等所在市町村は12市町村）の森林約172千haのうち78千ha（約45%）の国有林野を管理しています。

### 【沿革】

明治25年4月	山形小林区署・朝日小林区署・楯岡小林区署を設置
大正13年12月	山形小林区署を山形営林署に、寒河江小林区署を寒河江営林署に、楯岡小林区署を楯岡営林署にそれぞれ改称
昭和22年	林政統一により国有林のすべてを農林省が所管 (企業の運営による独立採算方式の特別会計制度を採用)
昭和31年6月	楯岡営林署を村山営林署に改称
昭和63年3月	寒河江営林署を山形営林署に統合し寒河江市に新築移転、蔵王森林センターを設置
平成11年3月	組織再編成により村山営林署を山形営林署に統合し山形森林管理署に改称、村山事務所を設置
平成13年8月	村山事務所及び蔵王森林センターを山形森林管理署に統合
平成25年4月	組織・事業のすべてを一般会計へ移行

### 山形森林管理署庁舎



山形森林事務所



村山森林事務所



中村森林事務所



幸生森林事務所



上山森林事務所



延沢森林事務所



## 管内の森林面積

管内に所在する14市町（7市7町）の総面積262千haのうち、森林面積は173千haで森林率は66%となっており、山形県の森林面積に占める比率は26%です。このうち、国有林野及び官行造林地が所在する12市町（7市5町）の国有林野等面積は78千ha、森林面積に対する国有林野率は45%となっています。

また、管内の天童市には官行造林地のみが所在し、中山町と河北町は、国有林野及び官行造林地の所在がありません。

山形森林管理署管内森林面積内訳

（単位：ha）

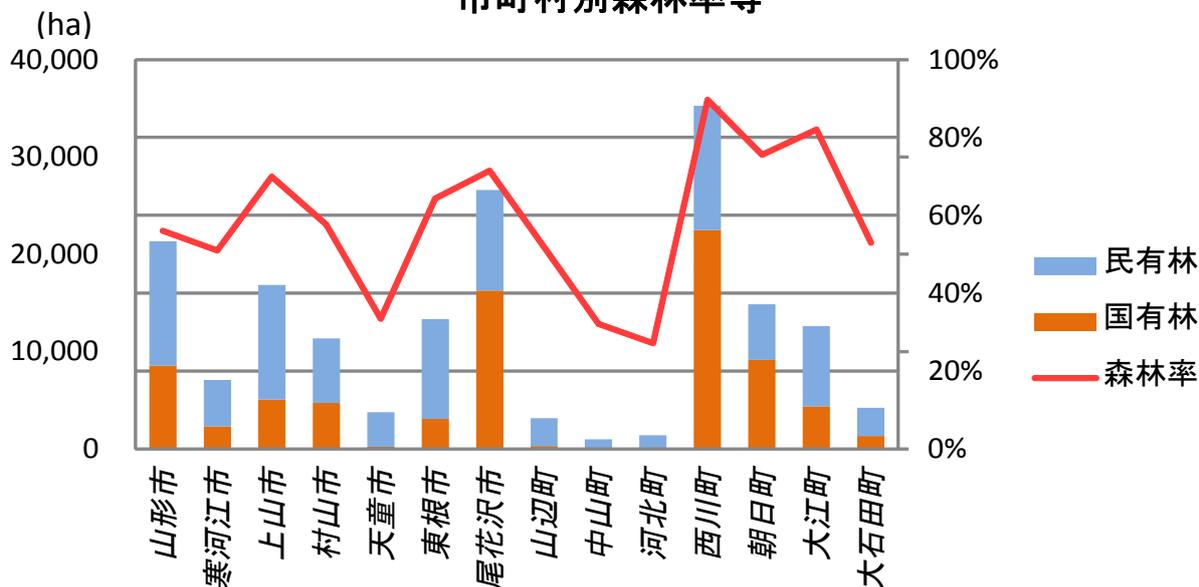
市町村名	市町村面積 ①	森林面積 ②	国有林野 ③	官行造林 ④	民有林	国有林野率 (③+④)÷②	森林率 ②÷①
山形市	38,134	21,362	8,561	0	12,801	40%	56%
寒河江市	13,908	7,090	2,279	44	4,767	33%	51%
上山市	24,095	16,859	4,940	139	11,780	30%	70%
村山市	19,683	11,354	4,668	59	6,627	42%	58%
天童市	11,301	3,777	0	216	3,561	6%	33%
東根市	20,717	13,334	3,048	30	10,256	23%	64%
尾花沢市	37,232	26,593	16,156	102	10,335	61%	71%
山辺町	6,136	3,182	293	0	2,889	9%	52%
中山町	3,123	1,002	0	0	1,002	0%	32%
河北町	5,238	1,422	0	0	1,422	0%	27%
西川町	39,323	35,252	22,292	193	12,767	64%	90%
朝日町	19,673	14,874	9,092	47	5,735	61%	76%
大江町	15,392	12,633	4,378	0	8,255	35%	82%
大石田町	7,959	4,219	1,294	52	2,873	32%	53%
合計	261,914	172,953	77,001	882	95,070	45%	66%

※注1 市町村区域面積は、国土地理院「平成25年度全国都道府県市区町村別面積調」による。

※注2 国有林面積及び官行造林面積は、「国有林野施業実施計画書」による。

※注3 民有林面積は、「地域森林計画書」による。

市町村別森林率等



## 管内の人天別面積・蓄積及び人工林齢級構成

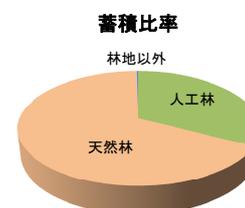
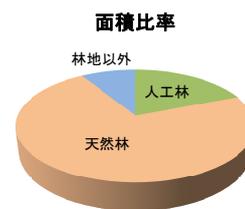
管内の人工林面積は約15千haで管轄面積の約2割を占めており、スギを主とする針葉樹など約280万m<sup>3</sup>、全体蓄積の約3割となっています。

人工林の齢級構成は下記グラフに示すとおり、面積・蓄積とも9齢級～12齢級（41年生～60年生）が突出しており、利用期に達した森林が増えています。また、天然林は約56千haで、ブナ・ナラを主とする広葉樹など約570万m<sup>3</sup>、面積、蓄積ともに約7割を占めています。

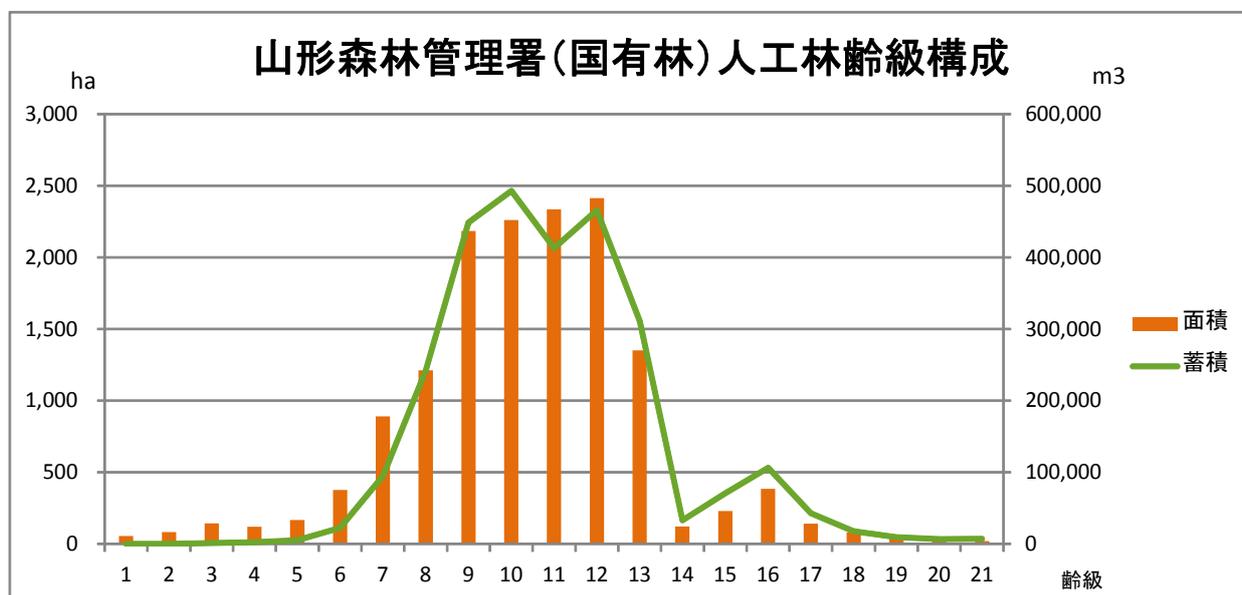


山形森林管理署人天別面積・蓄積内訳

人天別	面積 (ha)		針広別	蓄積 (千m <sup>3</sup> )		
	面積(ha)	比率		蓄積(千m <sup>3</sup> )	比率	人天別比率
人工林	14,649	(19%)	針葉樹	2,634	(94%)	(33%)
			広葉樹	159	(6%)	
			計	2,793	(100%)	
天然林	55,568	(72%)	針葉樹	251	(4%)	(67%)
			広葉樹	5,465	(96%)	
			計	5,716	(100%)	
林地以外	6,784	(9%)	針葉樹	5	(24%)	(0%)
			広葉樹	16	(76%)	
			計	21	(100%)	
計	77,001	(100%)	針葉樹	2,890	(34%)	(100%)
			広葉樹	5,640	(66%)	
			計	8,530	(100%)	



※注1 面積及び蓄積数値は、「国有林野施業実施計画書」による。  
 ※注2 人天別欄の「林地以外」とは、附帯地、貸地、雑地などである。



## 2. 公益機能重視の管理経営

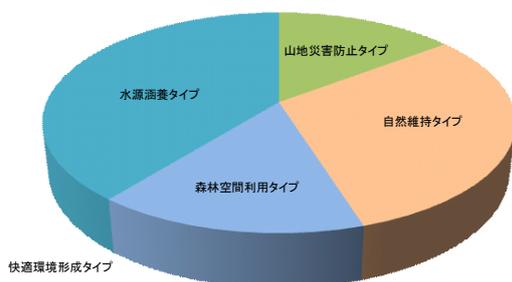
### 機能類型に応じた管理経営の推進

公益重視の管理経営を推進するため、国有林野を重視すべき5つの機能に区分し、機能類型区分ごとの管理経営の考え方に即した適切な森林施業を行っています。

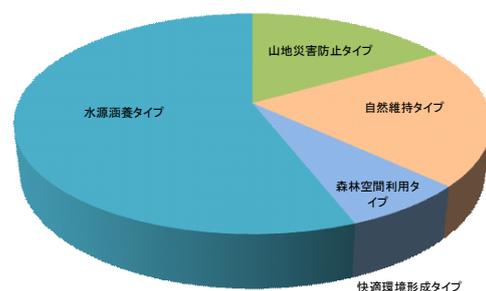


機能類型区分	山形 署	東北 局
<b>山地災害防止タイプ</b> (山地災害防止・土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林)	15% (11,269ha)	17% (273,765ha)
<b>自然維持タイプ</b> (原生的な森林生態系や希少生物の生育・生息する森林など 属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林)	30% (23,510ha)	20% (335,632ha)
<b>森林空間利用タイプ</b> (保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林)	16% (11,993ha)	7% (117,932ha)
<b>快適環境形成タイプ</b> (快適な環境の形成機能の発揮を第一とすべき森林)	0 (—)	0 (—)
<b>水源涵養タイプ</b> (水源の涵養機能の発揮を第一とすべき森林)	39% (30,229ha)	56% (920,860ha)

山形森林管理署 機能類型区分割合



東北森林管理局 機能類型区分割合



## 保安林の保全管理

水源の涵養、土砂の崩壊、その他の災害防備、生活環境の保全・形成など公益的機能の発揮が特に期待される森林については、「森林法」に基づいて農林水産大臣又は都道府県知事によって「保安林」に指定され、立木の伐採や土地の形質変更等について制限がかけられています。

管轄する国有林野面積の約9割、約77千 ha の森林が保安林に指定され、目的別に指定されている17種類の保安林のうち8種類の保安林について保全管理を行っています。

山形森林管理署保安林内訳

(単位:ha)

保安林種	指定面積	兼種保安林(うち面積)			
		土砂流出防備保安林	干害防備保安林	保健保安林	風致保安林
水源かん養保安林	54,739	(378)	(306)	(2,097)	
土砂流出防備保安林	18,815			(344)	(102)
土砂崩壊防備保安林	1				
干害防備保安林	592				
なだれ防止保安林	23				
落石防止保安林	20				
保健保安林	2,441				
風致保安林	102				
	76,733	(378)	(306)	(2,441)	(102)

## 安心・安全に向けた国土の保全

地域の安心安全を確保するため、治山事業により荒廃地の復旧整備や保安林整備を計画的に進めています。

山形森林管理署では、千歳山の松林再生、月山地区の地すべり防止、蔵王や大井沢地区の治山対策などに取り組んでいます。

### 【千歳山の松林再生の取組】

山形市のシンボルとして親しまれている千歳山（国有林面積68ha）は、近年、松枯れや岩石の風化が進み、散策路への落石などが危惧されたため、松枯れやナラ枯れ被害の防除及び伐倒駆除や落石防止対策を実施するとともに、平成20年度からは山形市民の協力を得て千歳山の景観維持及び松林の再生を図ることを目的としたアカマツの植栽などにも取り組んでいます。



リグ ネット柵工（強い衝撃でも吸収）



散策路脇の落石防止ネット被覆工

【月山地区の地すべり対策】

月山地区の志津温泉周辺に地すべり防止対策として、平成19年度から計27基の集水井を設置しました。



集水井の内部



集水井工事の様子

【蔵王地区の治山対策】

明治の頃から、蔵王ダム上流の崩壊地対策をはじめ、昭和の半ばまで硫黄の採掘が行われていた蔵王川上流の緑化対策や蔵王温泉スキー場周辺の崩落地対策等に取り組んでいます。



蔵王ダム上流の葉の木沢



蔵王温泉上流部の大沢（鋼製粹床固工）

## 【大井沢地区（西川町）の治山対策】

平成25年7月の集中豪雨により、大井沢地区では山地崩落が発生し、大量の土砂が流出する災害が生じました。この地区は上流部が国有林、下流部が民有林となっていることから、民国連携して復旧対策に取り組んでいます。



大井沢地区の山地崩落箇所



民有林の土砂流出箇所

## 路網の整備

森林の整備や保全、林産物の効率的な供給に資するため、投資効率や景観等に十分配慮して、林道・林業専用道及び森林作業道開設などの路網整備を進めており、管内の林道・林業専用道は85路線、総延長は264.91 km、森林作業道延長は約106kmとなりました。

こうした路網の整備に当たっては、民有林と国有林が一体となって計画的かつ効果的な路網配置ができるよう路網作設のための勉強会や現地検討会などの取り組みも行っています。



大丈倉沢林道作設の様子



大丈倉沢林道完成写真



山形森林管理署管内森林作業道作設状況

### 3. 森林・林業再生への貢献

#### 民有林と連携した森林整備

民有林と連携して森林整備を進めるため、平成25年度に山形県村山総合支庁と公益財団法人山形県林業公社との3者で「森林整備推進協定」を締結し、平成27年度からはさらに5年間の期間延長をしました。

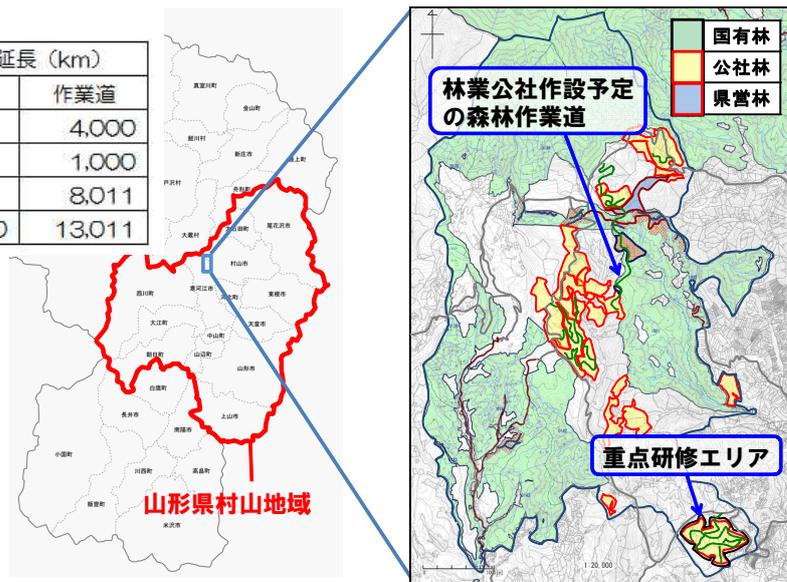
この協定では、寒河江市の畑・田代地区および村山市の岩野地区に森林共同施業団地を設定して、民有林と国有林が一体となった路網の整備や効率的な森林施業、研修重点エリアを活用した技術の普及などに取り組んでいます。

森林所有者別森林面積等

所有形態	面積 (ha)	森林整備面積 (ha)	路網延長 (km)	
			林道	作業道
公社林	176	59		4,000
県営林	12	12		1,000
国有林	957	76		8,011
計	1,145	147	0	13,011



研修重点エリアでの現地検討会の様子



#### 低コスト作業システムの技術開発と普及

各種会議などを通じて、国有林野事業に対する各林業事業者等からの要望や森林整備等に関する課題の把握に努め、効果的な間伐や高性能林業機械導入による効率的な作業システム現地検討会等の開催、各種情報の積極的な受発信により民有林に対して低コスト化作業の普及を図っています。

平成27年度からは、造林コストの削減に向けて、コンテナ苗を活用した伐採から植栽を同時に行う「一貫作業システム」の実証事業を行っています。



一貫作業システム現地検討会の様子

## 森林・林業技術者等の育成

林業事業体や市町村の林務担当者の育成を図るため、山形県と連携して研修会や現地検討会を行っています。また、早期の事業発注や発注見通しの提供など、計画的な事業発注を行うことにより事業体等の安定的な雇用の確保並びに労働安全の確保を図っています。



採材協議会（現地検討）の様子



採材協議会（座学）の様子

## 国産材の安定供給と需要拡大

国有林野事業は、公益的機能の発揮を重視した管理経営の中で、森林整備等により生産される林産物等を計画的・安定的に供給する役割を担っています。

山形森林管理署では、「第5次国有林野施業実施計画」等に基づき、林産物等の計画的・安定的な供給に取り組んでいます。特に、製品販売については製材工場や合板工場等への安定供給を図るための「システム販売」を推進することとし、併せて「委託販売」による販売も行っています。

また、治山工事等においては、国産材型枠合板を積極的に活用するなど、国産材需要拡大の取り組みも行っています。



生産事業地に積されたスギ原木



国有林から供給されたスギの剥皮原木



国産材型枠用合板を使用しての治山工事



JAS（日本農林規格）の証明付合板

## 4. 国民の森林としての管理

### 双方向の情報等受発信

開かれた「国民の森林」としての管理経営を一層推進するため、「地域管理経営計画」等の策定に当たっては、計画案作成前に「地域住民懇談会」や「計画策定検討委員会」を開催して地域住民の意見反映を行っています。

また、山形森林管理署のホームページでは、署の取組状況や事業の発注見通しなど各種情報の提供を行っています。

★林野庁ホームページ URL <http://www.rinya.maff.go.jp/>

★東北森林管理局ホームページ URL

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>

★山形森林管理署ホームページ URL

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/yamagata/index.html>



山形森林管理署ホームページ



ご意見・お問い合わせページ

### 森林環境教育の推進

森林・林業さらには国有林野事業の理解を深めてもらうため、関係機関と連携しながら国有林野をフィールドとした森林環境教育を推進しています。

山形森林管理署では、「蔵王緑の騎士団」および「成沢グリーンフィールド協力隊」と「遊々の森」協定を締結し、森林教室や自然観察、体験林業など活動の場の提供を行っています。



蔵王緑の騎士団入団式の様子



成沢グリーンフィールド 協力隊によるキリの勉強会

## 国民参加による森林整備及び森林の保全

森林の整備などを行っているボランティア団体に対し、フィールドの提供や技術支援を行っています。管内で活動している森林ボランティア団体「山形グリーンライフ女性の会」は、下刈り、枝打ち作業等の体験林業を通じて森林整備や保全活動を行っており、山形森林管理署では、手入れの必要なスギ造林地などのフィールドを提供しているほか、安全作業等の技術指導を行っています。

また、山形市のシンボル「千歳山」では、地域住民の協力を得て、松くい虫被害地へアカマツの植樹活動を行っています。



山形グリーンライフ女性の会による枝打ち作業



千歳山での植樹活動の様子

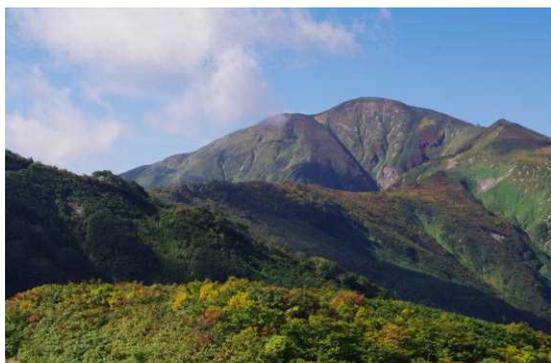
## 5. 森林の適切な保全・維持管理

### 「保護林」「緑の回廊」の適切な保全・維持管理

【「保護林」の設定及び保全・管理の推進】

国有林野には、原生的な森林や希少野生動植物の生育・生息する森林が多く残されており、生物多様性の核となるこのような森林を「保護林」に設定し、厳格な保全・管理を行っています。

保護林区分	保護林	面積
森林生態系保護地域	朝日山地森林生態系保護地域	15,121.60ha
林木遺伝資源保存林	遊仙峡クリ林木遺伝資源保存林	121.60ha
植物群落保護林	船形山植物群落保護林	1,361.64ha
	蔵王植物群落保護林	1,827.98ha
	御清水の森スギ植物群落保護林	1.09ha



朝日山地森林生態系保護地域



蔵王植物群落保護林

## 【「緑の回廊」の整備の推進】

野生生物の生育・生息地を結ぶ移動経路を確保し、個体群の交流を促進して種や遺伝的な多様性を保全するための「緑の回廊」を設定しています。「緑の回廊」では、研究機関等と連携して、野生生物の生育・生息環境に配慮した施業を行っているほか、野生生物の実態把握のためのモニタリング調査も実施しています。

緑の回廊	面積	全体面積
奥羽山脈緑の回廊	5,228.24ha	(約147,000ha)
鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊	3,080.17ha	(約190,000ha)

### 奥羽山脈緑の回廊

奥羽山脈緑の回廊は、奥羽山脈沿いに、北は青森県の八甲田山周辺から、南は宮城、山形県の蔵王山周辺に至る約400 kmにわたって設定されています。

設定面積は、約73,000haで、連結される保護林約74,000haを合わせると、約147,000haになります。



蔵王山(宮城県・山形県)

### 鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊

鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊は、関東森林管理局と連携して、山形県内を一巡する形で、秋田、山形、新潟、福島、宮城県境沿いに、奥羽山脈緑の回廊の神室山から、鳥海山、月山、朝日山地、飯豊山、吾妻山を經由し、蔵王山に至る地域に約260 kmにわたって設定されています。

設定面積は、約64,000haで、連結される保護林約126,000haを合わせると、約190,000haになります。



朝日山地(山形県・新潟県)



奥羽山脈緑の回廊



鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊

## 森林の巡視及び境界の保全

国有林野を適切に管理するため、各流域の森林事務所に配置されている森林官が、民有林等との境界や点検など計画的な林野巡視を行っています。

また、山火事や高山植物の盗採掘、ゴミの不法投棄等を防ぐため、管内各市町村、警察、共用林組合など、地域のさまざまな関係者と協力・連携を図りながら巡視活動を行っています。

さらに、登山等の入り込み者の多い蔵王地域では、森林保護員（通称：グリーン・ポイント・スタッフ）による巡視やマナーの啓発活動も行っています。



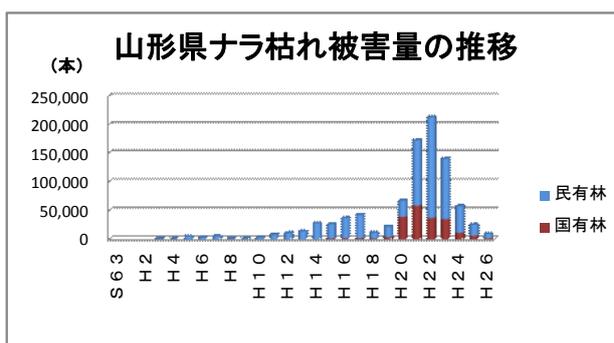
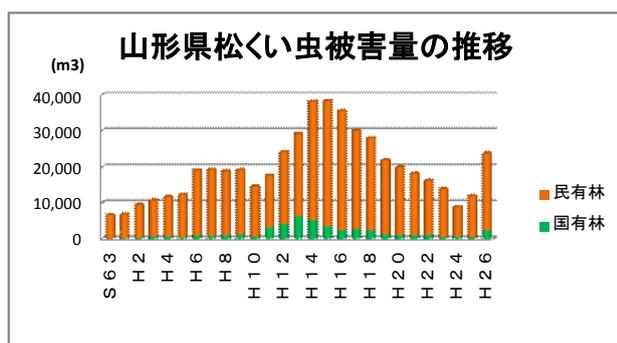
## 森林病虫害及び鳥獣被害の防除

### 【森林病虫害の防除】

山形県における松くい虫被害は、平成13～17年をピークとして年々減少傾向にあったものの、平成26年度から再び拡大の兆しがあり、県や各市町村、森林総合研究所等と連携を図りながら被害の拡大防止に取り組んでいます。

また、ナラ枯れ被害については、平成23年をピークとして減少傾向が続いているものの、予断を許さない状況であるため、各機関と連携した被害の監視強化と情報の共有に努めています。

さらに、平成25年度に発生した蔵王山での「トウヒツツリヒメハマキ」によるアオモリトドマツの被害については、過去の被害事例が少なく知見がなかったため、研究機関等から助言を得ながら被害対策に取り組んだ結果、一応の終息を見えています。



山形県全域における「松くい虫・ナラ枯れ被害量」の推移

### 【鳥獣被害の防除】

全国的に、ニホンジカによる森林植生への食害やクマによる樹木への剥皮等、鳥獣による森林・林業被害が深刻化しています。

山形県内でもニホンジカの目撃情報が増えていることから、平成26年度からニホンジカの生息域の現状、林業被害及び自然植生への影響等を把握するため職員による監視を強化しています。また、クマによる樹木の剥皮被害については、野生鳥獣との共生を念頭に有識者からの助言を得て対応します。

## 6. 国有林野の活用

### 国有林野活用の推進

#### 【レクリエーションの森】

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」に指定し、多様な森林とのふれあいの場を提供しています。

種 類	名 称	面 積
自然休養林	千歳・経塚	419.70ha
自然観察教育林	志津	456.41ha
	蔵王中央高原	129.63ha
	仙人沢野鳥の森	128.13ha
森林スポーツ林	三本木沼野営場	0.35ha
	苔沼・曲沼サイクリングロード	9.07ha
野外スポーツ地域	月山スキー場	259.28ha
	志津スキー場	4.15ha
	面白山スキー場	41.35ha
	蔵王スキー場	227.16ha
	南蔵王総合スポーツ林	245.93ha
	蔵王坊平	149.16ha
	黒伏高原スキー場	491.59ha
風景林	神通峡・大頭森	347.27ha
	月山	471.55ha
	葉山	392.90ha
	奥山寺	135.82ha
	蔵王坊平	72.25ha
	芳刈	0.86ha
	白鷹虚空蔵山	4.10ha
	山刀伐峠	1.95ha
	翁山	102.03ha
	黒伏高原	387.91ha
	山形森林管理署計	

【レクリエーションの森風景】



千歳山自然休養林



仙人沢野鳥の森自然観察教育林



蔵王中央高原自然観察教育林



蔵王坊平風景林



山刀伐峠風景林



蔵王スキー場野外スキー場

【国有林野の貸付】

農林業をはじめとする地域産業の振興、住民の福祉の向上等に寄与するため、地方公共団体等に対して国有林野の貸付等を行っています。

貸付地区分	平成28年度期首貸付面積
農耕・採草放牧地	55.1ha
道路敷	230.6ha
電気・通信事業用地	129.3ha
ダム・堰堤敷	92.1ha
森林空間総合利用事業地	175.6ha
その他	89.6ha
計	772.3ha



道路敷



歩道敷



砂防堰堤敷



神社敷



水路敷



電線路敷

## 7. 平成28年度主要事業量

### (1) 収穫量

(千m<sup>3</sup>)

収 穫 量	H27予定	H27実績	H28予定
立木販売	32.8	11.3	34.1
製品生産	33.4	36.3	26.7
事業支障木	2.2	1.2	2.2
分収育林	6.6	3.1	9.5
計	75.0	51.9	72.5

### (2) 販売量

(千m<sup>3</sup>)

販 売 量	H27予定	H27実績	H28予定
立木販売	26.4	6.9	28.9
製品販売	23.3	19.8	22.2

※販売量については官収分のみ

### (3) 森林整備事業

(ha)

森林整備事業	H27予定	H27実績	H28予定
地拵・植付	6.4	6.34	39.56
下刈り	31.9	30.64	8.36
除 伐	6.0	6.00	69.96
除伐Ⅱ類	113.9	113.86	118.68

#### (4) 林道事業

工事区分	工 事 名	延 長	担 当 区
新設工事	暖日山林道（林業専用道）新設工事	L=830m	西五百川
改良工事	大井沢川林道改良・災害復旧工事	補強土壁 ｺﾝｸﾞｰﾄﾞﾊﾟｰｸﾞ 布設替	〃
〃	根子川林道改良工事	ｺﾝｸﾞｰﾄﾞﾊﾟｰｸﾞ 布設	中 村

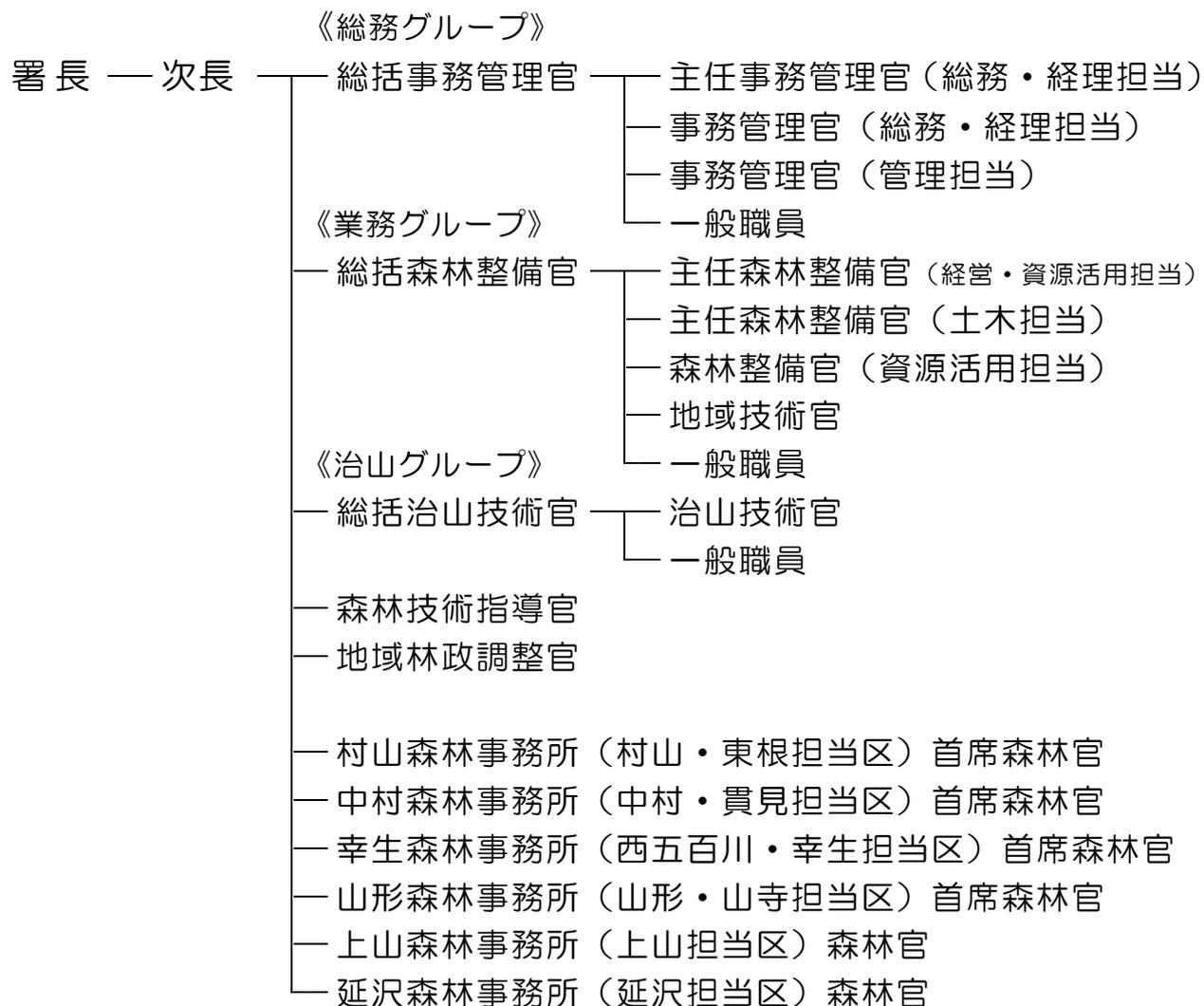
#### (5) 治山事業

工種区分	工 事 名	工事内容	担 当 区
谷止工	蛇喰沢（Ⅱ）治山工事	ｺﾝｸﾞｰﾄﾞ谷止工 2 基	中 村
〃	ハタノ沢治山工事	鋼製枠谷止工 1 基	〃
山腹工	藁口治山工事	山腹工0.5ha	村 山
〃	タバネ沢治山工事	山腹工0.2ha	幸 生
排水ボｰﾘﾝｸﾞ 工	大越地区地すべり防止工事	排水ボｰﾘﾝｸﾞ 工73m	〃

## 8. 組織図等

### 山形森林管理署組織図

H28.4.1現在職員数：職員28名 再任用職員2名 計30名



### 森林事務所連絡先

村山森林事務所	〒995-0024	村山市楯岡笛田3-3-70	TEL 0237-53-2702
中村森林事務所	〒990-0721	西川町大字大井沢字長ト口1182-1	TEL 0237-76-2002
幸生森林事務所	〒990-0502	寒河江市大字幸生ミナミ483-1	TEL 0237-87-1917
山形森林事務所	〒990-0021	山形市小白川町5-28-11	TEL 023-631-6966
上山森林事務所	〒999-3114	上山市永野561-2	TEL 023-679-2131
延沢森林事務所	〒999-4441	尾花沢市大字延沢685-4	TEL 0237-28-2125



お問い合わせ先

林野庁 東北森林管理局

**山形森林管理署**

〒991-0053 山形県寒河江市元町一丁目17-2

TEL 0237-86-3161 FAX 0237-86-3163

(IP電話)050-3160-5850